



令和5年度 大網白里市まち・ひと・しごと創生 有識者会議資料

議題 1

第2期大網白里市まち・ひと・しごと総合戦略の 取組状況について

- 1 大網白里市人口ビジョン
- 2 総合戦略の基本的な考え方
- 3 第2期における取組の検証



1 大網白里市人口ビジョン

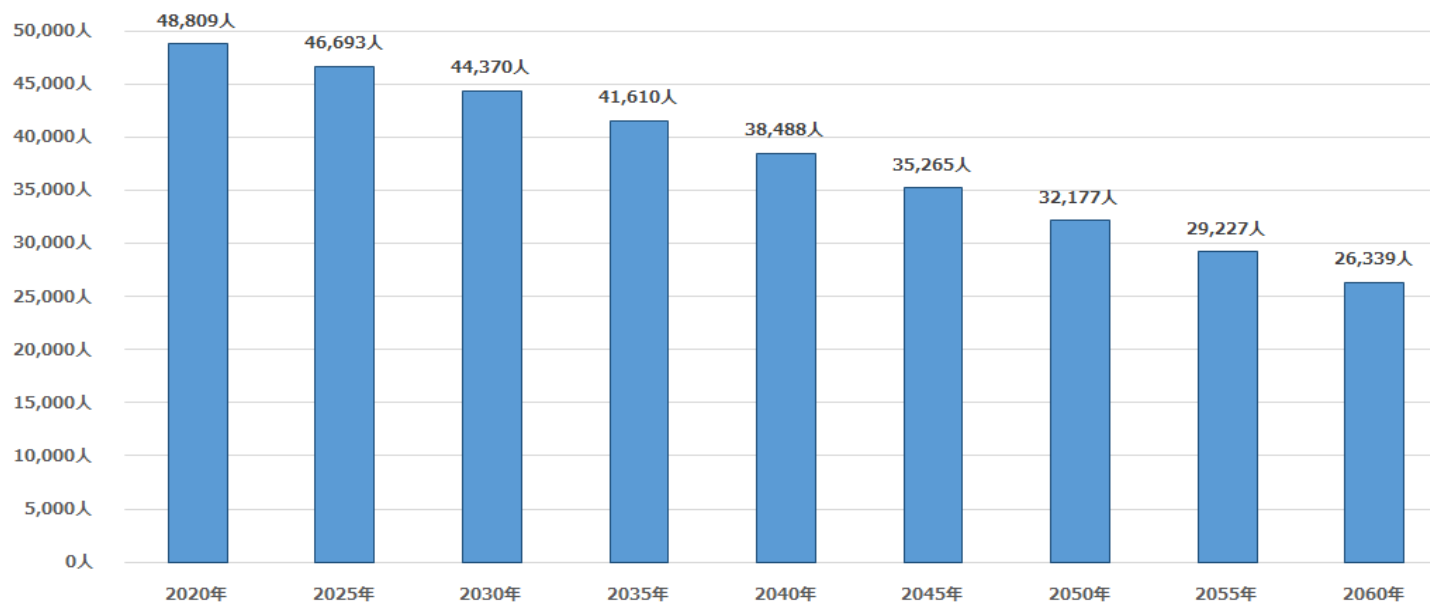
令和2年改訂版

1.1 将来人口推計（令和2年）

2030年（令和12年）には **44,370人** となる推計

（各年10月1日 住民基本台帳人口）

将来人口推計（令和2年）



	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)	2040年 (令和22年)	2045年 (令和27年)	2050年 (令和32年)	2055年 (令和37年)	2060年 (令和42年)
R2推計	48,809人	46,693人	44,370人	41,610人	38,488人	35,265人	32,177人	29,227人	26,339人
増減率	—	△ 4.34%	△ 4.98%	△ 6.22%	△ 7.50%	△ 8.37%	△ 8.76%	△ 9.17%	△ 9.88%
増減数	—	△ 2,116	△ 2,323	△ 2,760	△ 3,122	△ 3,223	△ 3,088	△ 2,950	△ 2,888

1.2 年齢区分別人口の推移

- ◎ 年少人口・生産年齢人口が減少、老年人口が増加
⇒ **少子高齢化が進行**

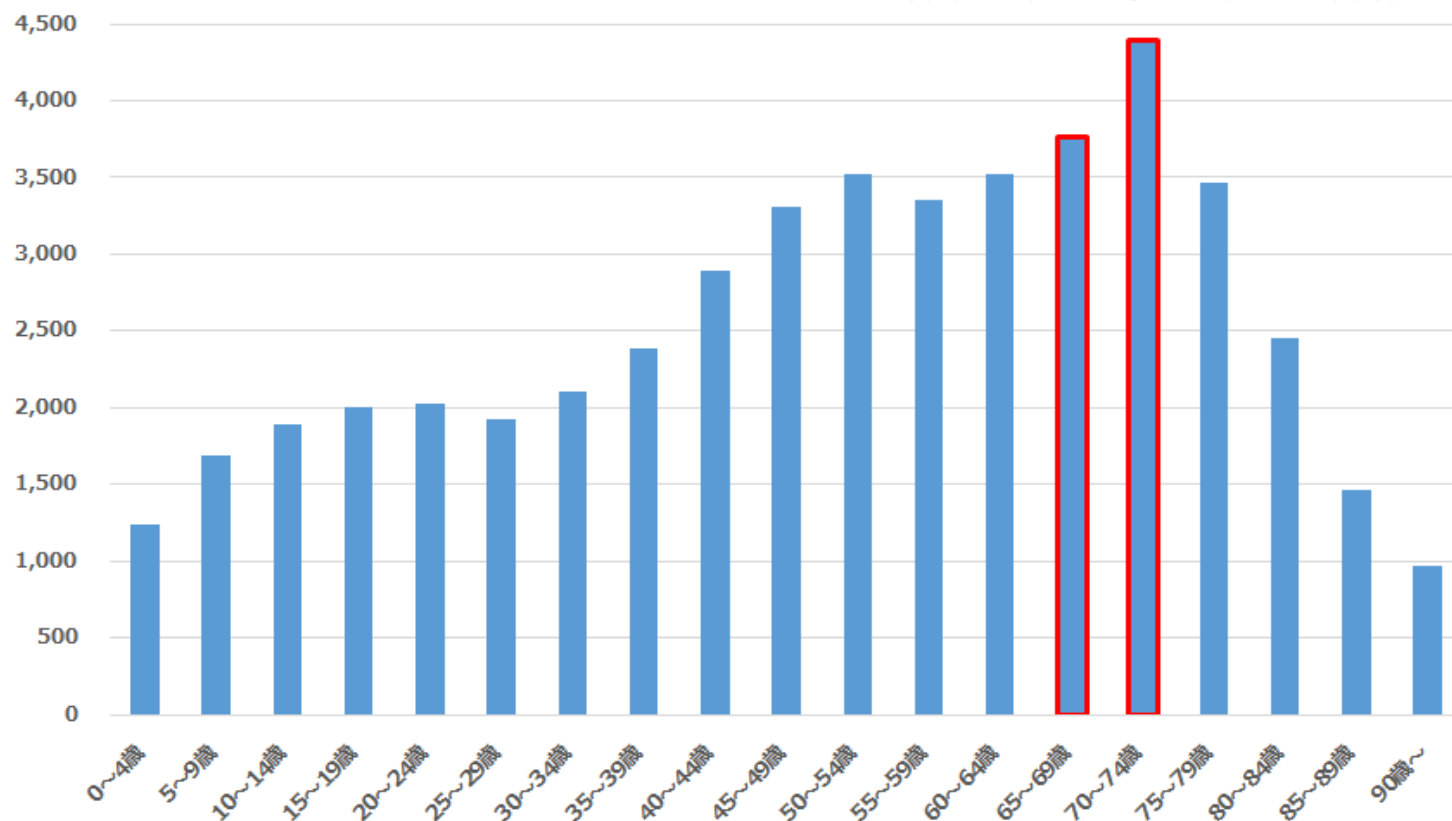
(各年10月1日 住民基本台帳人口)

	平成26年	令和元年	令和5年
総人口	50,714	49,226	48,259
年少人口 (0歳～14歳)	5,863 (11.56%)	5,255 (10.68%)	4,800 (9.95%)
生産年齢人口 (15歳～64歳)	31,311 (61.74%)	28,420 (57.73%)	26,976 (55.90%)
老年人口 (65歳以上)	13,540 (26.70%)	15,551 (31.59%)	16,483 (34.16%)
15歳～49歳 (女性人口)	9,648 (19.02%)	8,700 (17.67%)	8,031 (16.64%)

1.3 市の人口ピラミッド

- ◎ 少子高齢化が進んだ下すぼみの形状
- ◎ 人口急増期に最も増加した年齢階級「65歳～74歳」が突出

(令和5年10月1日 住民基本台帳人口)



1.4 人口の変化が税財政に与える影響

本市は個人市民税の構成比が極めて高く、人口減により深刻な影響を受ける

○令和4年度決算（上段：決算額、下段：構成比）

（単位：千円）

	歳入総額	地方税				固定資産税	歳出総額	民生費
		市町村民税	所得割	法人税割				
大網白里市	17,660,957	5,166,136	2,723,703	2,505,213	48,989	1,972,506	16,816,949	7,082,804
		29.25%	52.72%	91.98%	1.80%	38.18%		42.12%
茂原市	34,218,481	12,665,668	5,334,962	4,345,830	540,980	5,817,890	33,368,379	13,060,806
		37.01%	42.12%	81.46%	10.14%	45.93%		39.14%
東金市	23,009,170	7,669,606	3,266,582	2,765,214	224,096	3,248,965	21,974,200	9,220,990
		33.33%	42.59%	84.65%	6.86%	42.36%		41.96%
山武市	27,583,775	5,763,341	2,571,542	2,081,884	270,813	2,646,703	26,256,542	7,836,871
		20.89%	44.62%	80.96%	10.53%	45.92%		29.85%
富里市	19,442,480	6,600,727	2,908,444	2,491,042	181,096	2,699,266	18,437,918	7,497,122
		33.95%	44.06%	85.65%	6.23%	40.89%		40.66%
八街市	27,563,627	7,483,909	3,499,391	3,047,492	149,672	2,917,946	26,052,979	11,060,816
		27.15%	46.76%	87.09%	4.28%	38.99%		42.46%

1.5 人口の将来展望

現状

現状の人口構成から自然減を社会増で上回ることは難しい
⇒ 出産可能年齢の女性人口が減少・高齢化の進行

想定

一定期間は人口減少が避けられない
⇒ 人口が減少することを前提としたまちづくり

目標

年間100人程度の社会増を目指す
⇒ 令和12年(2030年) 45,000人を維持

1.6 自然動態と社会動態の推移

- ◎ 自然動態（出生・死亡）の減少幅が大きくなっている
- ◎ 社会動態（転出入）は減少から増加傾向に転じる

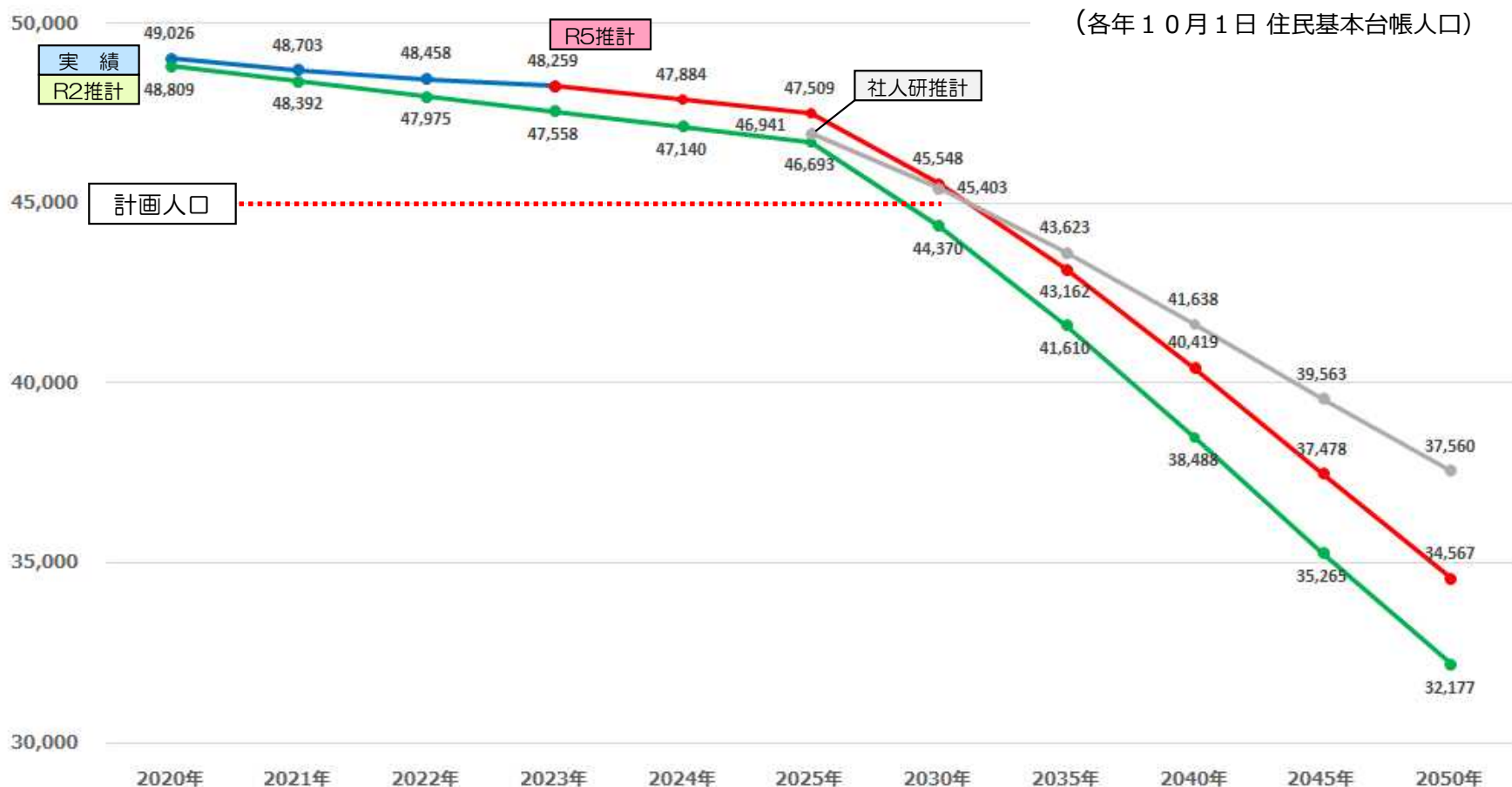
（各年1月1日～12月31日）

年	全体の増減数	自然動態			社会動態			
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	その他
26	△ 155	△ 227	311	538	72	1,992	1,888	△ 32
27	△ 349	△ 261	297	558	△ 88	2,490	2,542	△ 36
28	△ 217	△ 250	261	511	33	2,078	1,993	△ 52
29	△ 279	△ 270	267	537	△ 9	1,884	1,883	△ 10
30	△ 293	△ 279	278	557	△ 14	1,863	1,867	△ 10
令和元	△ 420	△ 343	248	591	△ 77	1,784	1,854	△ 7
2	99	△ 345	237	582	444	1,785	1,696	355
3	△ 281	△ 403	238	641	122	1,812	1,686	△ 4
4	△ 262	△ 442	207	649	180	1,847	1,658	△ 9

資料：千葉県毎月常住人口調査

1.7 将来人口推計を試算（令和5年）

2030年（令和12年）の人口を **45,548人** と推計





2 総合戦略の基本的な考え方

第2期大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2.1 策定の目的

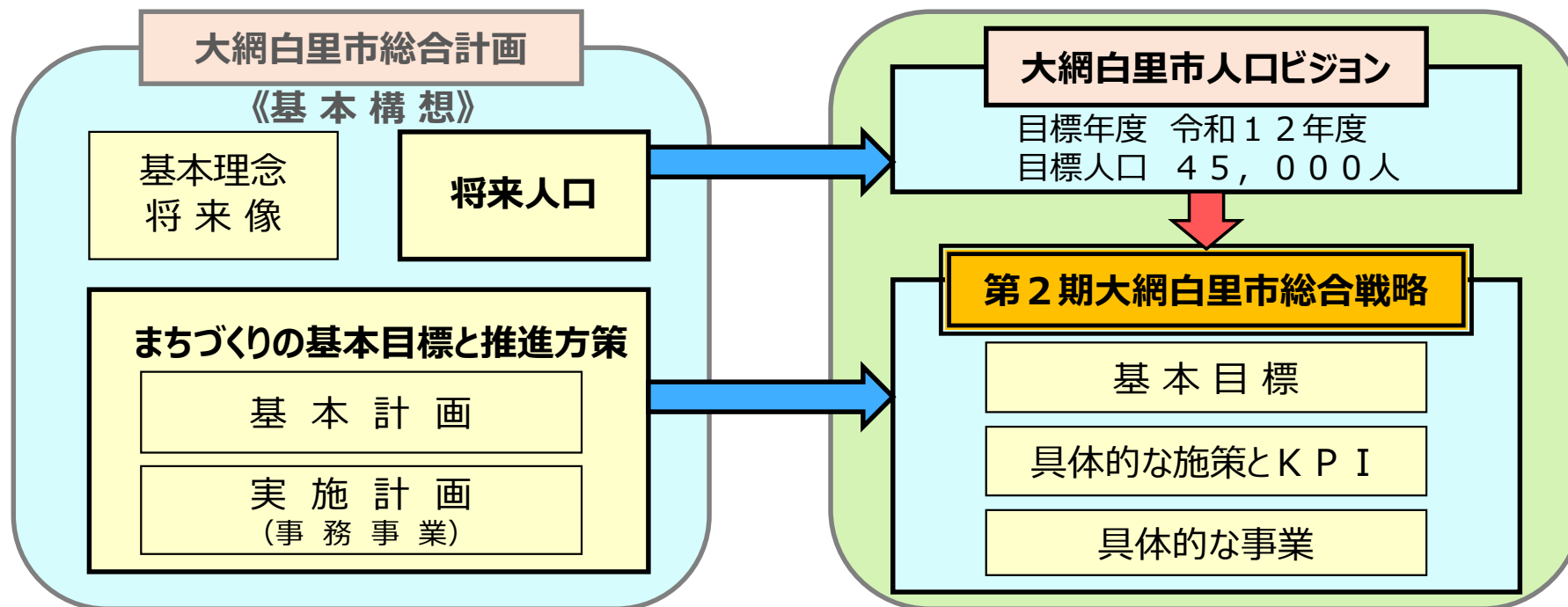
計画の趣旨

本市における人口減少や地域経済の縮小といった課題に対処し、まち・ひと・しごとの創生と好循環を確立するため、5年間を計画期間として目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめるもの。

第2期総合戦略の視点

将来的な移住にもつながる関係人口の創出・拡大や、企業や個人による地方への寄附・投資等による地方への資金の流れの強化など、地方へのひと・資金の流れを強化する取組に着目。

2.2 総合戦略の位置づけ



令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
2020	2021	2022	2023	2024	2025
第2期 大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
	大網白里市 第6次総合計画（前期基本計画）				

2.3 4つの基本目標

基本目標 1

「しごとをつくり、
安心して働ける場所
をつくる」

基本目標 2

「にぎわいと活力に
あふれた新しいひとの
流れをつくる」

基本目標 3

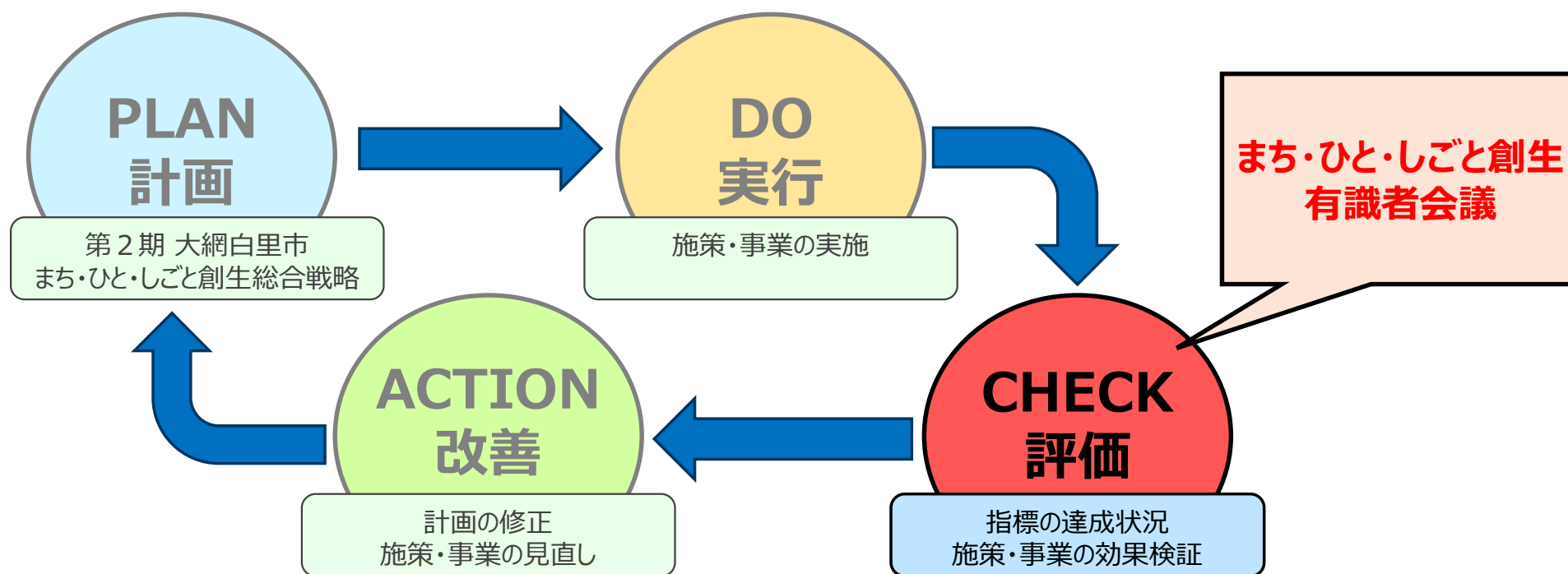
「若い世代が住みたくなる
出産・子育て・教育環境
を実現する」

基本目標 4

「誰もが安全で安心な
くらしができる魅力的な
地域をつくる」

2.4 PDCAサイクル

効果的な総合戦略を策定し、着実に実施していくとともに、**設定した重要業績評価指標(KPI)等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂する**という一連のプロセスを実行する。





3 第2期における取組の検証

第2期大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略

来訪
この地
小中池そ
(あ
1. 池で
2. 公認
3. 櫓が
4. 遊具
5. キヤ
6. 道の
7. 空を
8. 脚

私たちのあ家たち

基本目標 1

しごとをつくり、安心して働ける場所をつくる

【基本的方向】

- ◇ すべての世代が安心して働くことができるよう雇用を創出します。
- ◇ 特産品の掘り起こし、ブランド化を推進することによりしごとを創出します。
- ◇ 新たにしごとに就くための環境整備を行い、新規就業・就農を促進します。

【第2期総合戦略の数値目標】

項目	策定時	目標値	現状値	目標値との差
就業人口	22,602人 (H27年 国勢調査)	増加 (22,603人以上)	22,522人 (R2年 国勢調査)	△ 79人
従業人口	11,916人 (H27年 国勢調査)	増加 (11,917人以上)	12,396人 (R2年 国勢調査)	+ 479人

基本目標1 しごとをつくり、安心して働ける場所をつくる

【重要業績評価指標（KPI）】

（1）新たな雇用の場を創出するための基盤整備の促進

評価指標	策定時	目標値	現状値	目標値との差
大網駅東中央線沿道での新規企業立地数	0件 (H30年度)	2件 (R2～R6年度累計)	1件 (R2～R4年度)	△ 1件
国道128号線沿道での新規商業施設立地数	0件 (H30年度)	3件 (R2～R6年度累計)	1件 (R2～R4年度)	△ 2件

（2）地域産業活性化の推進

評価指標	策定時	目標値	現状値	目標値との差
県外への産品PR回数	6回 (H30年度)	年間5回以上 (R2～R6年度)	平均4回/年 (R2～R4年度)	△ 1回/年
企業誘致条例適用による企業等誘致件数	0件 (H30年度)	3件 (R2～R6年度累計)	1件 (R2～R4年度)	△ 2件

（3）就農・就業の推進

評価指標	策定時	目標値	現状値	目標値との差
新規就農者数	3人 (H30年度)	10人 (R2～R6年度累計)	6人 (R2～R4年度)	△ 4人
創業支援事業を通じた創業者数	4人 (H30年度)	20人 (R2～R6年度累計)	24人 (R2～R4年度)	+ 4人

【具体的な事業】

- ◎ 大網駅東土地区画整理事業
- ◎ 市街化調整区域における地区計画運用

- ◎ ふるさと納税の推進
- ◎ 観光等プロモーション推進事業
- ◎ 企業等立地奨励金

- ◎ 新規就農者等支援事業
- ◎ 創業支援事業
- ◎ 農業経営体育成事業

基本目標 2

にぎわいと活力にあふれた新しいひとの流れをつくる

【基本的方向】

- ◇ 外房の玄関口となる大網駅や圏央道スマートインターチェンジ等、本市が持つ高い交通利便性を活かして市内へのひとの流れをつくるため、魅力ある市街地の形成を進めます。
- ◇ 国道128号沿道は沿道サービス型の土地利用需要が高いことから、地域の利便性向上、活性化のための土地利用の促進を図ります。
- ◇ 市の魅力発信を強化し、関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進を図ります。

【第2期総合戦略の数値目標】

項目	策定時	目標値	現状値	目標値との差
年間転入者数	1,863人 (H30年)	1,900人以上	1,848人 (R4年)	△ 52人
年間転出者数	1,867人 (H30年)	1,800人以下	1,659人 (R4年)	△ 141人

基本目標2 にぎわいと活力にあふれた新しいひとの流れをつくる

【重要業績評価指標（KPI）】

（1）都市機能の充実

評価指標	策定時	目標値	現状値	目標値との差
大網駅の1日あたり平均乗車人数	10,319人 (H30年度)	維持 (10,319人)	8,293人 (R4年度)	△ 2,026人
コミュニティバスの1便あたりの平均乗車人数	9.0人 (H30年度)	増加 (9.1人以上)	8.6人 (R4年度)	△ 0.5人

（2）魅力発信（シティプロモーション）の強化

評価指標	策定時	目標値	現状値	目標値との差
観光入込客数	27万人 (H30年度)	27万人以上	18.9万人 (R4年度)	△ 8.1万人
市ホームページ閲覧件数	269,117件 (H30年度)	300,000件	387,493件 (R4年度)	+ 87,493件

【具体的な事業】

- ◎ 大網駅周辺の都市的土地利用の検討
- ◎ コミュニティバス等運行事業
- ◎ 地域公共交通確保維持改善事業

- ◎ 観光振興事業
- ◎ 小中池公園再整備の検討
- ◎ ふるさと納税の推進（再掲）

基本目標 3

若い世代が住みたくなる出産・子育て・教育環境を実現する

【基本的方向】

- ◇ 医療体制や母子保健を充実させ、出産しやすい環境を整備するとともに、子育て支援の拡充や教育環境の向上により、切れ目のない子育て環境の整備を進めます。
- ◇ 出産・子育て・教育環境の充実と支援強化により、これから出産を迎える、または育児している若い世代の移住・定住を促進します。

【第2期総合戦略の数値目標】

項目	策定時	目標値	現状値	目標値との差
年間出生者数	278人 (H30年)	300人以上	203人 (R4年)	△ 97人
合計特殊出生率	1.23 (H30年)	上昇 (1.24以上)	1.02 (R4年)	△ 0.22
児童福祉・子育て支援に対する満足度	2.48 (R元年)	上昇 (2.49以上)	—	※

※R6年度にアンケート調査を実施予定

基本目標3 若い世代が住みたくなる出産・子育て・教育環境を実現する

【重要業績評価指標（KPI）】

（1）医療体制・母子保健の充実

評価指標	策定時	目標値	現状値	目標値との差
医療機関数	30施設 (R元年度)	増加 (31施設以上)	33施設 (令和4年度)	+ 2施設
3歳児健診受診率	97.7% (H30年度)	100%	94.4% (令和4年度)	△ 5.6%

（2）子育て支援・教育の充実

評価指標	策定時	目標値	現状値	目標値との差
待機児童数（4月1日現在）	8人 (R元年)	0人	27人 (R5年)	+ 27人
学校が楽しいと感じている児童の割合（小学校平均）	88.0% (H30年度)	上昇 (88.1%以上)	88.3% (R4年度)	+ 0.2%

【具体的な事業】

- ◎ 子ども医療費助成事業
- ◎ 出産・子育て応援交付金事業
- ◎ 不妊治療費助成事業

- ◎ 子育て支援センター運営事業
- ◎ 小中学校教育環境整備事業
- ◎ 小中学校給食費補助金

基本目標 4

誰もが安全で安心なくらしができる魅力的な地域をつくる

【基本的方向】

- ◇ 住み慣れた地域において社会から孤立することなく、誰もが居場所と役割を持って、安全に安心してくらすことのできる地域社会の実現をめざします。
- ◇ 地域づくりを担う組織や企業と連携し、市民や民間の活力を活かしたまちづくりを進めます。

【第2期総合戦略の数値目標】

項目	策定時	目標値	現状値	目標値との差
健康づくりに対する満足度	2.82 (R元年)	上昇 (2.83以上)	—	※
まちづくりへの参加協力意向がある割合	48.3% (R元年)	上昇 (48.4%以上)	—	※
防災体制に対する満足度	2.52 (R元年)	上昇 (2.53以上)	—	※

※R6年度にアンケート調査を実施予定

基本目標4 誰もが安全で安心なくらしができる魅力的な地域をつくる

【重要業績評価指標（KPI）】

（1）健康で生きがいのあるまちづくりの推進

評価指標	策定時	目標値	現状値	目標値との差
要介護認定を受けていない高齢者率	85.3% (H30年度)	上昇 (85.4%以上)	84.6% (R4年度)	△ 0.8%
障がい福祉サービス事業者数	49事業者 (R元年度)	増加 (50事業者以上)	58事業者 (R4年度)	+ 8事業者

（2）安全で安心なまちづくりの推進

評価指標	策定時	目標値	現状値	目標値との差
自主防災組織のカバー率	55.7% (H30年度)	上昇 (55.8%以上)	57.8% (R4年度)	+ 2.0%
交通事故発生件数	123件 (R元年)	減少 (122件以下)	94件 (R4年)	△ 28件

【具体的な事業】

- ◎ 健康ポイント事業
- ◎ 介護予防普及啓発事業
- ◎ 福祉タクシー助成事業

- ◎ 津波避難施設整備事業
- ◎ 自主防災組織づくり事業
- ◎ 交通安全施設整備事業

議題 2

企業版ふるさと納税の活用状況について

- 1 企業版ふるさと納税
- 2 本市の寄附実績と活用事業

1 企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について、法人関係税を税額控除



活用の流れ

- ① 地方公共団体が地方版総合戦略を策定する。
- ② ①の地方版総合戦略を基に、地方公共団体が地域再生計画を作成する。
- ③ 内閣府が地方公共団体の地域再生計画を認定し、企業版ふるさと納税の受け入れが可能となる。

2 本市の寄附実績と活用事業

地域再生計画の認定を受けた令和3年3月以降、**計11,850千円**の寄付を受領

	寄附額	件数	寄附活用事業	事業内容
令和3年度	600千円	5件	魅力発信事業	地方移住の促進及び観光需要の回復のため、移住定住・ふるさと納税PR用パンフレットやAR動画を活用した観光情報マップを作成。
令和4年度	10,150千円	2件	小学校施設衛生環境整備事業	児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続することを目的に、小学校の校舎内トイレを和式便器から蓋付きの洋式便器に改修する。
令和5年度 (12月末時点)	1,100千円	2件	バス通学定期運賃補助金	子育て世代の経済的負担軽減、定住化及び路線バスの利用促進を図ることを目的として、路線バスの通学定期券を利用して通学している学生を対象に定期券購入代金の一部を補助する。
計	11,850千円	9件		

議題 3

次期総合戦略（令和7年度～令和11年度） について

- 1 デジタル田園都市国家構想総合戦略
- 2 本市の改訂方針とスケジュールについて

1 デジタル田園都市国家構想総合戦略

- ◎ 「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指し、国が2022年12月に策定
- ◎ 地方版総合戦略についても、国の総合戦略を踏まえたものに改訂するよう求められている

国によるデジタル実装の基礎条件整備

① デジタル基盤の整備

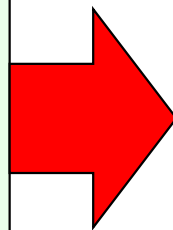
- ・ デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大 など

② デジタル人材の育成・確保

- ・ デジタル人材育成プラットフォームの構築、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成 など

③ 誰一人取り残されないための取組

- ・ デジタル推進委員会の展開、デジタル共生社会の実現 など



地方の社会課題解決

① 地方に仕事をつくる

- ・ 中小企業DX、地域の良質な雇用の創出、スマート農業、観光DX など

② 人の流れをつくる

- ・ 移住の促進、関係人口の創出・拡大 など

③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・ 結婚・出産・子育ての支援、少子化対策の推進 など

④ 魅力的な地域をつくる

- ・ 教育DX、医療・介護DX、地域交通DX など

2 本市の改訂方針とスケジュールについて

- ◎ 令和6年度に改訂作業を実施し、国のデジタル田園都市国家構想を踏まえた第3期総合戦略(R7～R11)とする
- ◎ 本会議に新たに「デジタル分野」の有識者の参画を求める

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
第2期 大網白里市まち・ひと・しごと創生総合戦略				改訂作業	デジタル田園都市国家構想を踏まえた第3期 総合戦略 (R7～R11)	
大網白里市 第6次総合計画 (前期基本計画)				後期基本計画 策定作業		